

仕様書

1 案件名

6-7 公共交通政策点検・評価業務及び交通計画策定業務委託

2 目的

- (1) 令和3年(2021年)3月に策定した「つくば市地域公共交通計画(以下「交通計画」という。)」で定めた計画目標の指標の達成状況を国土交通省に報告するために、必要な点検・評価を行う。
- (2) 平成28年(2016年)3月に改訂した「つくば総合都市交通体系調査(以下「交通体系調査」という。)」で定めた都市交通施策の中期点検・評価を行う。
- (3) 現交通計画の対象期間が令和7年度末(2025年度末)までであることから、令和8年度(2026年度)以降の新たな交通計画(以下「第2次交通計画」という。)の策定を行う。第2次交通計画では、市域の交通需要や周辺自治体との広域連携、新たな技術革新等を考慮しながら、今後5年間について、誰もが円滑に移動できる持続可能な公共交通に転換するための施策立案・目標値の設定などを行い策定する。
- (4) 全国的に深刻な課題となっているバス運転士不足や改善基準告示の改正などを踏まえ、民間バス路線及びつくば市コミュニティバス「つくバス(以下、「つくバス」という。)」路線を再編し、持続可能なつくば市域バスネットワークを構築する。

3 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年(2026年)3月20日まで

※別添【スケジュール】及び「5 成果物」を確認し、中間納品に留意すること

4 業務内容

(1) 現交通計画の点検・評価

現交通計画の詳細については、つくば市 HP を参照

(https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/126/R3_keikakusyo.pdf)

- ア 現交通計画の計画目標と関連する下記の評価指標及び目標値について、令和 6 年度及び令和 7 年度時点の数値を算出し、目標値に対する進捗評価を行う。
- イ 進捗評価の報告は、年度毎にまとめ、各年度中に行う。
- ウ 具体的な算出方法は交通計画 参考資料 3：評価指標の算定方法を参照
- エ 指標 2-1、2-2 及び 2-3 の算出に必要なデータは後述するアンケート調査の結果から算出する。
- オ 指標 3-1 の算出に必要なつくばスのプローブデータは、受託者がバスロケーションシステムサービス提供会社から購入する（税別 30 万円）。
- カ 進捗評価の様式は、国土交通省関東運輸局 HP を参照
(<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000235341.xlsx>)

(2) 交通体系調査の中期点検・評価

交通体系調査の詳細については、つくば市 HP を参照

(https://www.city.tsukuba.lg.jp/material/files/group/126/H27_TransportationSystemSurvey.pdf)

- ア 交通体系調査に定めた各都市交通施策について、短期及び中期における施策展開方針の実施状況を点検・評価する。
- イ 交通体系調査に定めた評価指標の、令和 2 年度及び令和 7 年度時点での達成状況を点検・評価する。なお、指標の評価方法については発注者と協議の上、決定する。
- ウ これら点検・評価結果を踏まえ、最終年次である令和 12 年度時点の評価指標達成に向け必要な施策について検討する（後述する第 2 次交通計画と連携し、施策を反映する）。

(3) 市内バス路線の再編

- ア つくば市内を運行する路線バス、つくバス、筑波地区支線型バス「つくばね号」及び他市コミュニティバスについて、次の情報を収集し、現状を把握する。
- (ア) バス運行事業者の諸元情報（営業所ごとの所属運転士数、車両数等）
 - (イ) バス路線の諸元情報（ダイヤ、運賃、必要運転士数、運行経費、運賃収入等）
 - (ウ) バス路線の停留所別乗降実績（乗降調査結果、交通系 IC カード利用実績等）
- イ 市内の移動需要を把握するため、次の情報を収集する。
- (ア) 後述するアンケート調査等による居住地区と目的地区の把握
 - (イ) 30 東京都市圏交通パーソントリップ調査、国勢調査、ビッグデータ等による OD 分析結果
 - (ウ) つくバスのプローブデータ等による市内渋滞状況の把握
 - (エ) つくバスの路線変更に関する市民、利用者等からの要望
- ウ 前述までに行った状況把握を踏まえ、市内バス運行事業者、周辺自治体等と協議の上、つくば市内を運行する各バスの役割・位置付け（市内バスのあり方）を見直す（後述する第2次交通計画にも反映する）。
- エ 前述の各バスの役割・位置付けの見直しを踏まえ、次の点を考慮した上で、市内バスネットワーク再編案を作成する。
- (ア) バス運行事業者、周辺自治体等、関係者との合意形成による実現及び持続可能なバスネットワークであること
 - (イ) バス運転士の改善基準告示の改正を踏まえた運転士の労働時間、休憩時間等に配慮していること
 - (ウ) 重複路線の見直しや乗り継ぎの導入等によりバス路線の効率化が図られていること
 - (エ) 市内の移動需要に対応した新規路線の検討を行うこと
- オ 市内バスネットワーク再編案作成に当たっては、次の工程を考慮して行う。
- (ア) 市内バス路線図等については、令和6年12月末までに関係者と協議の上、案

を作成する。その後、令和7年1月開催予定のつくば市公共交通活性化協議会（以降、「活性協」という。）報告用資料を作成すること

(イ) 市内でワークショップを開催し、市民、利用者等の意見を聴取し、必要に応じ市内バス路線図等への反映を行うこと

(ウ) つくバスについては、令和7年3月までに運行車両数、運転士数を定め、ワークショップの結果も踏まえた上で、運行便数、運賃等の運行ダイヤ素案を作成し、つくバス運行事業者との調整を経て、案を作成する。その後、令和7年6月開催予定の活性協報告用資料を作成すること

カ 市内バスネットワーク再編案の作成に当たり、適宜、関係者（事業者、市民、利用者等）との意見交換、調整、説明等の補助を行うこと

(4) 第2次交通計画の策定

【調査・分析事項】

ア つくば市及び周辺地域における社会情勢の変化並びに交通特性の把握

(ア) 道路交通センサス、30 東京都市圏交通パーソントリップ調査、国勢調査の結果等の整理及び分析を行うこと

(イ) 既存の交通サービスの利用状況、市域の開発状況等について整理及び分析を行うこと（「4（3）市内バス路線の再編」で整理及び分析済みの情報は流用可）

(ウ) 収集したデータ類を統合し、交通手段別、地区別等の観点から状況を整理し、市全体の動向が分かるようにすること

(エ) 把握した事項を踏まえ、地図上に可視化するとともに、経年変化を分析するためのデータとして、データベース化（Excel 等）し、整理すること

イ 地域公共交通の現状把握

(ア) 地域公共交通（路線バス、一般タクシー、つくバス、つくタク、つくばね号等）の利用状況を整理及び分析すること（「4（3）市内バス路線の再編」で整理及び

分析済みの情報は流用可)

- (イ) 収集したデータ類を統合し、交通手段別、地区別等の観点から状況を整理し、市民の移動動向及び移動特性が分かるようにすること
- (ウ) 把握した事項を踏まえ、地図上に可視化するとともに、経年変化を分析するためのデータとして、データベース化 (Excel 等) し、整理すること

ウ 現交通計画の効果検証

- (ア) 「4 (1) 現交通計画の点検・評価」における最終年次 (令和7年度) における点検・評価に同じ
- (イ) 現交通計画の点検・評価結果から効果検証を行い、第2次交通計画の方針や施策策定に向けた課題を抽出すること

エ 市民の移動行動及び移動に関する意向調査

市民の移動行動及び交通施策に対する意向 (満足度及び評価等を含む) を把握するためのアンケート調査を実施すること (詳細は後述)

【検討事項】

ア 地域公共交通の課題と対応策の検討

【調査・分析事項】で把握した内容等を基礎資料として、つくば市における公共交通の課題を抽出すること

イ つくば市の将来都市像を踏まえた地域公共交通事業の方針の検討

- (ア) 「つくば市未来構想」、「つくば市都市計画マスタープラン」、「つくば市立地適正化計画」等、各種計画との整合性を図りつつ、つくば市の都市構造に即した公共交通事業の方針を検討すること
- (イ) つくば市全体の移動行動の円滑化及び公共交通の利用促進につなげることを留意するとともに、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の趣旨及び方向性を含めること

ウ 公共交通体系、施策及び交通サービスの検討

つくバス、つくタク、つくばね号、路線バス等の公共交通体系を検討する。特に、

公共交通のネットワーク化及び持続可能な公共交通体系の構築に重点を置く。

(ア) 路線バス及びつくバスについては、「4 (3) 市内バス路線の再編」の検討結果を反映する。また、市民の利便性向上の観点から施策、サービスの充実等について検討すること

(イ) つくタクについては、令和7年度からのAI オンデマンドシステム導入を踏まえ、市民の利便性向上の観点から適切な施策、サービスの充実等について検討すること

(ウ) 自転車（シェアサイクル含む）については、ラストワンマイル利用など幹線交通へ接続する末端の公共交通や、市内中心部の移動手段として位置付け、バス待ち環境整備などを含めた乗り継ぎ利便性向上策の検討をすること

(エ) MaaS や自動運転、ライドシェアなど最新の技術や新しいモビリティについて、市域の公共交通ネットワークの構築のツールとした際の利用方法などについて検討すること

(オ) 路線バスやコミュニティバスの乗り入れなど、市域を跨いだ持続可能な広域ネットワークの形成、強化のため、周辺自治体との連携について検討すること

(カ) 上記(ア)から(オ)の検討事項について、経費面及び財政面からの持続可能性について試算、検討すること

エ 公共交通体系に基づいた運行計画の検討

【検討事項】 アからウに基づいて、各サービスの運行計画を整理すること

オ 第2次交通計画の目標設定

現交通計画の効果検証を踏まえ、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の趣旨及び方向性を考慮して、第2次交通計画の策定及びサービス内容について検討すること

【第2次交通計画の策定】

【調査・分析事項】及び【検討事項】を踏まえ、第2次交通計画を策定する。なお、「4 (3) 市内バス路線の再編」の検討結果について、本計画策定に反映する。

(5) 市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

ア 「4 業務内容」(1)から(4)の実施に当たり、市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向を把握するために、アンケート調査を実施する。

(ア) 調査対象者及び調査表配布数は、過年度の配布実績を踏まえ、適切に設定すること

参考1：令和5年度アンケート調査実績（現交通計画の令和5年度点検・評価）

・一般市民配布アンケート

対 象：18歳～84歳までの無作為抽出した市民3,000人に郵送配布

回収数：1,143件（目標1,000件、回収率38.1%（WEB比率50.7%））

・運転免許返納者・高齢者タクシー運賃助成受給者アンケート

対 象：運転免許返納者・高齢者タクシー運賃助成受給者

回収数：運転免許返納者220件（回収率56.6% 郵送のみ）

高齢者タクシー運賃助成受給者440件（回収率54.3% 郵送のみ）

参考2：令和2年度アンケート調査実績（現交通計画策定時）

・一般市民配布アンケート

対 象：20歳～89歳までの無作為抽出した市民4,000人に郵送配布

回収数：1,917件（回収率47.9% 郵送のみ）

・つくタク利用者アンケート

対 象：つくタク利用実績がある自宅利用登録者1,000人に郵送配布

回収数：672件（回収率67.2% 郵送のみ）

・路線バス・つくバス・実証実験利用者アンケート

対 象：市内TX4駅、牛久駅及び車内で利用者2,256人に配布

回収数：676件（回収率30.0% 郵送のみ）

- (イ) 調査項目は、「4 業務内容」(1)から(4)の実施に必要な設問のほか、過年度の意向調査を基に、経年変化の分析に必要と考えられる設問とすること
- (ウ) 調査方法は、紙又はインターネットによるアンケートとし、調査対象者に合わせ、適切な方法で実施する。紙の場合、印刷費及び郵送費は受託者が負担し、インターネットの場合、受託者がアンケートフォームを準備するものとする
- (エ) 調査対象者が回答したアンケートの原本は、本業務終了後、受託者が廃棄するものとする

イ 収集した調査結果は交通手段別、地区別等の観点から現況を整理し、市全体の動向がわかるようにする。

ウ 把握した事項を踏まえ、地図上に可視化するとともに、経年変化を分析するためのデータとして、データベース化 (Excel 等) し、整理する。

エ 把握した情報は、単純集計、クロス集計等の各種分析を行うとともに、集計結果から読み取れる傾向等をまとめる。また、アンケート結果の概要をまとめた、活性協報告用の資料も作成する。

5 成果物

(1) 中間納品物 (電子データ)

ア 市内バスネットワーク再編案 (市内バス路線図、つくバス運行車両数・運転士数等)

イ 現交通計画の令和6年度点検・評価結果

ウ 第2次交通計画の策定に係る中間報告

※中間納品物は活性協への報告及び国土交通省に補助申請するために必要なデータとする

※ファイル形式は、PDF のほか、Word、Excel 等編集可能な形式のデータとする

※記録媒体は、CD-R 又は DVD-R とし、正副2部作成すること

(2) 最終納品物

ア 印刷物

- (ア) 本業務に関する報告書 4部
- (イ) 第2次交通計画（全量版）を印刷製本したもの 200部
- (ウ) 第2次交通計画（概要版）を印刷製本したもの 200部
- (エ) 交通体系調査の中期点検・評価報告書を印刷製本したもの 50部
- (オ) アンケート原本の廃棄報告書 1部

イ 電子データ

- (ア) 本業務に関する報告書
- (イ) 第2次交通計画（全量版）
- (ウ) 第2次交通計画（概要版）
- (エ) 現交通計画の令和6年度点検・評価等の結果様式
- (オ) 現交通計画の令和7年度点検・評価等の結果様式
- (カ) 交通体系調査の中期点検・評価報告書
- (キ) 市内バスネットワーク再編案報告書
- (ク) アンケート調査結果のデータベース
- (ケ) 市内バス路線図
- (コ) その他業務遂行の過程で作成した資料
- (サ) 市から提供したデータ

※ファイル形式は、PDFのほか、Word、Excel等編集可能な形式のデータとする

※記録媒体は、CD-R又はDVD-Rとし、正副2部作成すること